

“私たちの供給する商品を中心に
家族の団らんがはずむこと”を
めざします。

組合員数 273,559世帯
県内全世帯に対する加入率 57.6%
一人平均出資金額 18,831円 (10月13日現在)

にじのわ

11月 433号 2回

発行 生活協同組合 **コープみやざき** 理事会
所在地 〒880-8530 宮崎市瀬頭2丁目10番26号
電話 (0985)32-1234 FAX(0985)32-3355
ホームページアドレス <https://www.miyazaki.coop>

今の時期にしか味わえない栗をたくさんいただいたので、栗ご飯を作りました。孫たちも大喜びでホクホク感のある甘い栗ご飯を食べ、「また作ってね」と催促されてしまいました。ワイン煮の渋皮炊きは大人の味かな!!



受験生の子どもが勉強の合間の休憩時間に、毎回ふだんのくらしカタログや、にじのわを愛読しています。心がほっこりして、とても癒されるそうです。豆知識も得ることができ、有意義な時間です。特に職員さんのコメント欄を丁寧に読んで「へえ」と声をあげることも。親子共々、これからもよろしくお願ひいたします。

栗ご飯

宮崎市の組合員さん (70代)

今はテレビ三昧

宮崎市の組合員さん (60代)

毎朝、朝ドラを観るのが楽しみです。また新しいドラマが始まりました。これからどう展開していくか。以前はどんなに忙しくても読書を欠かしていません。今、今はテレビ三昧。図書館にも滅多に行かなくなり、改善しないといけません。



親に感謝

日向市の組合員さん

大学受験をする子どもがいますが、桁違いの出費です。旅費だけで頭が痛いです。無事に合格することを祈っています。自分の親もこんな思いをして学校に送ってくれたと思うと感謝ばかりです。

わが家の大掃除の工夫

カレンダーに“♡”をつけて少しずつ

高鍋町 Y・Kさん(40代)
クリスマスに向けてアドベントカレンダーのように毎日少しずつ1カ所ずつ掃除をします。少しずつならすぐに終わるから、取り掛かりやすい!そしてカレンダーに“♡”をつけていきます。やる気を出して今年もがんばります!

11月から少しずつ

宮崎市 C・Sさん(70代)
温暖な11月から日を決めて「今日はここだけ」と目的をもって少しずつ掃除をします。12月になると何かと多忙で、その上寒くなり、水が冷たく体もぶくなるので動きづらくなります。早め早めに対応できるという思いです。終活も考えて仕事しよう!

息子をつかまえて

宮崎市 K・Nさん(60代)
普段一人暮らしなので、時々帰省する息子をつかまえて早めに家具の裏や高い所の掃除はやってもらい、12月に入ったら少しずつ窓やサッシの溝、換気扇等やり始めます。年末は仕上げをすると割と楽にできます。

1日5個物を捨てる

宮崎市の組合員さん(60代)
10月に入り少し涼しくなってきたので、年末掃除のために1日5個物を捨てるようにしています。洋服やタオルペーパー、タオルなどいろいろです。タオルは適当に切った油の処理に使用しています。

命はロウソクの炎のように静かに消えていき

「長い間本当にお疲れ様でした」と手を合わせて見送ることができました。相反する命の消え方。これはかなり望んでも叶えられないものではないかと、精一杯生きなくてはと、

◎60代

共同購入のカタログ回収にご協力ください

回収されたカタログは製紙メーカーの大分製紙さんに送られ、コアノンロール(トイレトペーパー)にリサイクルされます。ご協力よろしくお願いいたします。

◎ 回収できるもの ◎

- 共同購入で配布したカタログ および印刷物
- 共済などのチラシ
- くらしと生協、スクロールの冊子 (ホッチキスの針は取らなくて大丈夫です)

✕ 回収できないもの ✕

- 共同購入の注文用紙
- 納品請求書
- 封筒
- 共同購入以外のカタログやチラシ
- 新聞紙

⚠️ 特に、新聞紙の混入にご注意ください。混入するとリサイクルできなくなります。

Q カタログはどうやって出したらいいですか?

A 紐などで縛ったり、通い袋やビニール袋(紙袋)に入れず、注文用紙とは別にお出ください。留守の方は、折りコン(ドライ商品が入っている青箱)に入れてお出ください。受取場に回収箱がある場合はそちらに入れてください。※受取場によって出し方が異なる場合があります。

11月から3月までの「ポリ缶灯油配送サービス」が始まります!

電話一本で配達してもらえて便利です!

免許を返納して自分で買いに行けなくなり、コープのポリ缶灯油配達を利用することにしました。電話一本で留守でも配達してもらえて、代金は口座引き落としなので便利です!もっと早くからお願ひしておけばよかったと思います。(宮崎市の組合員さん)

ポリ缶灯油配送のしくみ

- ①事前に登録し、灯油が必要になったら提携店に直接電話をして配送日の打ち合わせをします。
- ②留守にしているも、打ち合わせした配送日にポリ缶を外に出しておけば、提携店が給油して帰ります。
- ③重いポリ缶を運ばなくていいので、便利です。代金は共同購入の納品請求書にてご請求いたします。

お問い合わせから3日以内に給油となります(一部地域を除く)。(当日は難しい場合があります)

ボイラー灯油配送サービスも行っています

事前にご登録いただくと、冬場は月2回、夏場は月1回、定期的に巡回し、給油を行います。(地域によっては、電話で申し込みのところもあります)

お問い合わせ・お申し込みは
生活サービスセンター 電話 0985-29-5800
営業:月曜～土曜 9:00～17:50

☆事前に登録が必要です。配送をご希望の方は、生活サービスセンターにお電話していただくか、地域責任者にお申し付けください。後日、申込用紙(登録用紙)をお届けします。
☆灯油配送サービスは、一部配達できない地域がございます。
☆価格は地域によって異なりますので、生活サービスセンターにお問い合わせください。

くらしと生協 ネット注文は履歴も見られて便利!

以前「くらしと生協」で注文した商品が、カタログではどの商品だったか分からなくなりますが、ネット注文だと履歴を見れば分かります。気に入った商品を再注文できるので、とても助かっています。(宮崎市の組合員さん)

インターネットでのご注文や「ご注文専用フリーダイヤル」は在庫確認もできて便利です。

- インターネットでのご注文はこちらから <https://order.miyazaki.coop/dispssel.html>
- 「くらしと生協」ご注文専用フリーダイヤル 0120-09-8282 (月曜～土曜 8:30～21:00)

※年末年始は休業。

- ◆「くらしと生協」商品はすべて、**宅配便でのお届け**となります。
- ◆電話注文では曜日時間帯指定お届け(無料)、組み立て設置サービス(有料)も承っています(一部お受けできない商品もございます)。
- ◆「くらしと生協」冊子もお届けします。冊子カタログは、過去に「くらしと生協」をご利用いただいた組合員さんにお届けしています。ご希望の方にはお渡します。地域責任者、または店舗のサービスカウンターまでお声がけください。

勉強の合間に愛読

宮崎市 Y・Mさん (40代)
受験生の子どもが勉強の合間の休憩時間に、毎回ふだんのくらしカタログや、にじのわを愛読しています。心がほっこりして、とても癒されるそうです。豆知識も得ることができ、有意義な時間です。特に職員さんのコメント欄を丁寧に読んで「へえ」と声をあげることも。親子共々、これからもよろしくお願ひいたします。

コープ牛乳

宮崎市 辻佳子さん (60代)
5歳の孫はコープ牛乳が好きでいつも飲んでいました。この前「牛」の背中に宮崎と鹿児島鹿島の形が付いている」と発見し、長年飲んでいる私も今まで気づかずにびびりました!!(日本地図がズルが大好きな孫!)新たな発見をくれる孫と、これからもおいしいコープ牛乳を飲み続けます!

カタログを見るとわくわく

宮崎市の組合員さん (70代)
生協のカタログ注文を入院のために2ヵ月お休みしていましたが、今月から再開しました。注文用紙とカタログを見るとわくわくします!いろんな情報をもたらえますし、届けてもらえるのが最高ですね。ありがたい!これからもよろしくお願ひいたします。

孫の成長

宮崎市の組合員さん (70代)
4歳の孫娘の運動会に行ってきました。入園して半年。先生のリードでしっかりダンスをしたりゲームを成長を感じた1日でした。

今年は大掃除をしなくて済むはず!

小林市の組合員さん (50代)
暑かった頃から少しずつ秋へ季節が変わりつつある今日この頃。彼岸になると

油汚れにはセスキ

宮崎市 R・Yさん (60代)
コンロまわりの油汚れは、セスキ(セスキ炭酸ナトリウム)を使うとほんとに良く落ちますよ!こまめに掃除するのが大切だぞ、という後回し。「ひどくなる前にちよつとずつ」が習慣になるといいんだけど、と毎年思っ、12月を迎えています。

今年夏は大切な二人と悲しい別れをしました。

一人は親戚のMさん。コンビニの駐車場でバック駐車をしていた大型トレーラーがその前を横切ったMさんに気づかず進み衝突したという事故でした。その日、現場の前を知らずに通った私はレスキュー車やパトカーが止まっているのを片目に、事故か?と思っただけで30分後「Mさんがコンビニの駐車場で事故に遭い、先ほど亡くなりました」と連絡が来たときは只々絶句。こんな非情で悲惨な事故が身近な人に起こるなんて思いもしませんでした。もう一つの別れは私の母です。98歳という高齢なので天寿を全うしたとも言えますが、やはり別れは悲しいものです。風邪を引いて寝込んだこともない母は、94歳を過ぎた頃から認知症の症状も出て少ずつてきないことが増えていき、ゆつくりとロンググッバイの期間を一緒に過ごしました。命はロウソクの炎のように静かに消えていき「長い間本当にお疲れ様でした」と手を合わせて見送ることができました。相反する命の消え方。これはかなり望んでも叶えられないものではないかと、精一杯生きなくてはと、

◎60代

